

分野	専門分野	科目名	精神看護学方法論
時間	21時間	開講時期	2年次（後期）
講師名	外部講師		
科目目標	1. 各疾患の経過別看護について理解できる。 2. 各精神障害者の特徴を病気や症状の面から理解し、求められる看護援助のあり方を理解できる。 3. 看護場面における治療的対人関係を理解し、相互作用を効果的に活用する方法を理解できる。 4. 看護場面に必要なコミュニケーション技法を理解できる。		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
1. ケアの人間関係 ・ケアの前提・原則・方法 ・プロセスレコードを活用する ・患者-看護師関係における感情体験 ・チームのダイナミクス 2. 回復を支援する ・回復の意味とリカバリーのビジョン ・治療の場におけるリカバリーの試みと看護の視点 ・リカバリーを促す環境・方法としてのグループ ・さまざまな回復のためのプログラム ・リカバリーのプロセス 3. 地域におけるケアと支援 ・地域における生活支援の方法およびケアの方法と実際 ・学校・職場におけるメンタルヘルスと看護 4. 入院治療の意味 ・精神科を受診するということ ・治療の器としての病院・病棟 ・入院中の観察とアセスメント ・ケアの方向性を考える ・退院に向けての支援とその実際 5. 身体をケアする ・精神科における身体を通した看護ケアと治療に伴う身体ケア ・身体合併症のアセスメントとケア ・精神科における終末期ケア 6. 安全を守る ・リスクマネジメントの考え方と方法 ・緊急事態の対処及びスタッフの支援 7. 医療の場におけるメンタルヘルスと看護 ・身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス ・リエゾン精神看護とその活動と実際 ・看護師のメンタルヘルスへの支援 8. 災害時のメンタルヘルスと看護 ・災害時における心のケア ・支援者のメンタルヘルスとケア 9. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス ・看護師の不安と防衛 ・感情労働の代償と社会および看護 ・看護師の感情ワーク ・看護における共感の光と影 ・共感疲労を予防するためのいくつかのヒント			
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			